

平成 30 年度

生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅱ 実施報告③

実施日：平成 31 年 1 月 16 日（水）

<講話>「これからの社会教育行政のあり方」～地域ニーズに応える公民館事業～

春日部市教育委員会 社会教育部 中央公民館
事業担当主任 社会教育主事 山下剛史 氏



山下氏からは、生涯学習・社会教育を取り巻く国の動向などを踏まえながら、社会教育の最前線として公民館ではどのように取り組んでいるのか具体的な事例を交えてお話いただきました。

受講者は、講話を通して、毎年同じことをやり続けるのではなく、何か工夫をしていくことや住民と積極的に関わって行くことの大切さなど、生涯学習に携わる心構えを改めて確認することができたようです。

<情報交換・ふりかえり>「これからの自分を考える」



講話を聞いて心に残ったキーワードを書き出し、それを基に日頃の各自の担当業務に関わる情報も交えながら、各グループで意見交換を行いました。短い時間でしたが、多くの受講者が「自分に何ができるのか」や「何をすべきなのか」を考えるきっかけを得たことなど、熱く語っていました。



<受講者の感想>

- ・公民館の持つ役割や力を再確認できたように思います。
- ・地域住民のニーズに応え、事業を進めていく大切さを学びました。
- ・「楽しく仕事をする」たとえ楽しくなくても楽しそうに仕事をするのが、人とつながる第一歩ということに心にとめ、日々の仕事を頑張ります。
- ・公民館を利用するサークルと学校の橋渡しをしていきたいです。
- ・具体的で参考になり、良い話が聞けました。
- ・県内は、過疎地域が多いと思うので、そこで地域住民が生き生きと活動する事例も聞いてみたいです。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 E-mail: shogai-c@tochigi-edu.ed.jp